

これまでの行政改革の取り組み(第一次～第四次)

◆集中改革プラン(H17年度～21年度)

基本戦略

1. 行政事務の重点化と透明性の向上
2. 行政経営手法の改善
3. 職員の定員・給与の適正化と組織・機構の見直し

実施項目

- ・事務事業の再編・整理、廃止・統合
- ・開庁時間の延長・休日開庁
- ・事務事業の民間委託の推進
- ・指定管理者制度の導入 …etc

全38項目

量の改革

効果額 1,029,948千円

◆第一次行政改革大綱(H18年度～21年度)

基本方針

1. 職員の英知を結集し、全職員による全庁的な取り組みとする。
加えて、広く市民の声を取り入れ、市民との協働による行政改革とする。
2. 行政全般にわたり抜本的な見直しを行い、行政サービスのより一層の効率化を目指す。
3. 行政改革を進める上でも、その公正の確保と透明性の向上は最重要事項であるので、市民へのわかりやすい情報提供に努め、理解と協力を求める。

◆第二次行政改革大綱(H22年度～26年度)

目的

1. 簡素で効率的な行政運営
2. 市民視点の行政サービスの充実

主要項目

- 市民の利便性の向上
- 行政の透明化
- 成果重視の行政運営
- 民間活力の活用
- 効率的な組織体制
- 財政の健全化
- 外郭団体の見直し

全7項目

実施項目

- ・税等のコンビニ払込サービスの検討
- ・窓口業務改善の推進
- ・財政状況の公表
- ・行政評価による総合計画の進捗管理
- ・公立保育園の民営化の推進
- ・組織体制の見直しと定員管理
- ・公有財産の総点検
- ・第三セクター見直し方針の推進 … etc

全20項目

質の改革

効果額 410,995千円

◆第三次行政改革大綱(H27年度～R元年度)

視点

変化に対応した
行政サービスの推進

市民と行政の相互理解

コスト意識の徹底

目的

1. 時代に即応した連携と協働のまちづくり
2. 持続可能な財政基盤の確立

基本方針

1. 効率的な市民サービスの推進
2. 役割分担に基づく市民との協働の推進
3. 分かりやすい情報発信と情報セキュリティの強化
4. 効果的な行財政運営の推進
5. 効率的な組織の構築と人材育成
6. 外郭団体の見直し

主要項目

- 質の高いサービスの提供
- 民間活力の活用
- 広域行政への対応
- 市民との協働の仕組みづくり
- 情報発信力の強化
- 安全性と信頼性の確保
- 公共施設等の適正管理
- 効率的組織体制の確立と組織力の強化
- 職員の意識改革及び計画的な人材育成
- 受益者負担の適正化
- 効率的・計画的な行財政運営
- 補助金・負担金等の見直し
- 第三セクター等の抜本的改革の推進

全13項目

実施項目

- ・施設予約システムの構築
- ・特別養護老人ホーム民営化の検討
- ・SNSの活用等、情報公開の推進
- ・各種団体への補助金の見直し
- ・上下水道料金等の見直し
- ・定員管理計画の推進と組織力の強化
- ・職員提案制度の推進
- ・公共施設等総合管理計画の策定と推進
- … etc

全26項目

